

## 農山漁村におけるバイオ燃料等生産基地創造のための技術開発 (再公募)

### 1. 事業概要

平成22年12月に閣議決定された「バイオマス活用推進基本計画」では、2020年を目標年として、炭素量換算で約2,600万tのバイオマス利用、新たな5,000億円の市場創出等を掲げています。これらの目標を達成するためには、農山漁村で豊富に得られる草本、木質及び微細藻類からバイオ燃料等を製造する技術の開発が不可欠です。

農林水産省では、国内に貯存するバイオマスを活用し、農山漁村地域におけるエネルギーの地産地消を推進する観点から、それぞれの地域の特性を生かした研究開発を実施するため、本プロジェクト研究において、草本を利用したバイオエタノールの低コスト・安定供給技術、林地残材を原料とするバイオ燃料等の製造技術及び微細藻類を利用した石油代替燃料等の製造技術を開発します。

なお、開発を進めるに当たっては、国内外の知見、民間等が有する技術やノウハウ等を積極的に導入することに努めます。

### 2. 公募研究課題別の研究開発内容、目標等

「林地残材を原料とするバイオ燃料の製造技術の開発」

#### ① 研究開発の具体的内容

林地残材などの木質バイオマスを原料として、バイオオイルの製造と改質を同時に行い、かつ、林内で利用することのできる可搬式のシステムを開発します。また、改質されたバイオオイルについて石油代替燃料としての性能を評価します。

#### ② 達成目標（最終目標）

木質バイオマスからバイオオイルの製造と改質を同時に行い、かつ、林内で利用することのできる可搬式のシステムを開発します。その際の石油代替燃料の製造コストの目標は、80円/Lとします。

#### ③ 研究実施期間（予定）

平成24年度～27年度（4年間）

#### ④ 平成24年度の委託研究経費限度額

138,000千円

### 3. 委託件数

原則として1件とします。

### 4. 問合せ先

上記の内容に関する問合せは、応募の締切りまでの間、下記において受け付けます。

なお、審査経過、他の提案者に関する事項、応募に当たり特定の者にのみ有利となる事項等にはお答えできません。また、これら以外の問合せについては、質問者が特定される情報等を伏せた上で、質問及び回答の内容を農林水産技術会議事務局のホームページにて公開させていただきますので、ご承知おきください。

#### 記

- 公募研究課題について  
農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）室 担当者 深山、柳田  
TEL：03-3502-0536  
FAX：03-3593-7227
  
- 契約事務について  
農林水産技術会議事務局総務課契約班 担当者 江橋  
TEL：03-3502-7967  
FAX：03-5511-8622

委託プロジェクト研究の公募説明会 参加申込書

農林水産省 農林水産技術会議事務局  
研究開発官（環境）室 宛  
(fax : 03 - 3593 - 7227)

平成 年 月 日

該当委託プロジェクト研究名

農山漁村におけるバイオ燃料等生産基地創造のための技術開発の開発

研究機関等の名称：

参加希望人数： 人

所属・役職：

氏名：

所在地：

連絡先：tel

fax

e-mail：

その他：

注)「所属・役職」欄以降の記載に当たっては、当該説明会参加を希望する者のうち、連絡窓口となる1名について記載して下さい。